

<参考> アンケート結果**イ. 参加学生****1. 今回、体験塾に参加された！正直な感想をお聞かせください。****①大変よかった(12名/18名中 66.7%)**

- ・モノづくりに対する熱い思いや、制限がある中で私がこだわりたい部分はしっかりと周りに説明して説得できなければならないことを学びました。また、制限がありできないことも発想を変えることで完成するし、より良くなるのがとても楽しく嬉しかったです。
- ・今まで知らなかったモノづくりの大変さと楽しさ、さらに石の持つ魅力を知ることができて、本当に良い経験となりました。今日の成果発表会でも、自分の知らないことをたくさん知ることができ、とても良い勉強になりました。
- ・本当の会社との連携で商品を作ること、モノづくりの流れや仕事のようなものを体験することができて本当に良かったと思います。自分の考えたアイデアが形になる喜びを知れて本当に良かったです。
- ・大学では感じることはできなかった、会社とはどのような雰囲気なのかを感じることができて良かったです。
- ・安全に楽しく体験させていただきました。体験内容を考えていただけ、私の意見をできる限り取り入れていただけました。
- ・モノづくり体験塾を通して、企業の努力・知恵を知ることができた。また、企業の方たちと直接やり取りすることで、自発的に行動する重要さを学びました。
- ・体験させて頂いた企業様は快く受け入れて下さり、やったことのない貴重な経験を得ることができました。
- ・何もわからない自分を優しく受け入れて下さり、一からモノづくりについて教えて頂きました。また、この体験で何か残るモノと一緒に作って頂き、素晴らしいスマホスタンドを製作できてとても良い体験となりました。
- ・体験企業のプロジェクトを完遂できたことで、実際にカタチとなってポートフォリオに利用できたり、卒業制作のアイデアに繋がったりして体験以外で得られることも多かったです。
- ・インターンシップで設計の技術者の方と話すことがあっても、実際に作業している方と話すことは無いので貴重な体験でした。
- ・初めは緊張することばかりで、まともに話すことができませんでしたが、様々なスピーチを聞いて色々と分かることができたので良かったです。
- ・沢山のことを知ることができ、大学生の発表も聞いて自分の成長に繋がるところがあり、参加して良かったです。

②よかった(3名/18名中 16.7%)

- ・「大変良かった」としたい所ですが、当初に事務局からこの企業ではモノづくり迄はできないことを聞いていませんでした。受入企業様は何も悪くありませんが、そういった事情があるのであれば、最初に連絡を事務局から頂きたいと思いました。

- ・良い体験になりましたし、色々な企業のことでも聞かせて頂いて会社のことを知ることができ良い機会になりました。

③どちらでもない(1名/18名中 5.5%)

- ・正直な所、モノづくり体験塾とインターンシップの差別化があまりできていなかったと感じる。設計については仕事として学ぶことは多かったが、モノを作るという一番重要な所が体験できなかったのが残念だった。トレースが多く、アイデアを生かせる所も少なかった。

④よくなかった(1名/18名中 5.5%)

- ・3年目の社員さんが担当してくださったのですが、まだまだ若手のため質問したことに答えられなかったりしたので、10年くらい経験のある人に教えて貰いたかった。そのため、今回学びたかったことを学べなかったです。

⑤無回答(1名/18名中 5.5%)

2. 困ったことや、気になったことはありますか。

- 東大阪の工場はアクセスが悪い場所に位置していることが多く、私の行った企業さんも電車→バスを乗り、更に1キロ程歩いた場所にありました。自動車の免許を持っていない私には毎回行くのが少し大変でした。
- 私の会社さんは本当にマメにちゃんとメールを下さったり、試作品を作ってもらったりして下さいましたが、他の学生の行っていた会社ではメールの返信が無かったり、試作品を作って下さらなかったりと、会社によって差が大きいと感じました。
- 私の場合は学校の授業が多く、体験に行く時間の確保が大変でした。
- モノづくりなのにモノを作らない体験をしている企業がいくつかあった。大きいものを作る企業は難しいかもしれないが、CADで図面を書くことは大学でも習うことであり、新鮮味もあまり無いのではないかと思います。図面が形になることでモノづくりの楽しさが学べるのではないかと思います。
- 当日の発表会場がどこにあるのか、また発表の誘導がわかりにくかった。懇親会は参加するか、参加しないかのメールをして欲しい。強制参加はやめて欲しい。

3. 今後、学生の皆さんが参加しやすくするための工夫、アイデアなどがあればお書きください。

- 今後も文系の学生は参加するべきだと思いました。今回の作品の写真を紹介するのも良いかもしれないですね。
- 他の学部の学生でも、東大阪モノづくり体験塾に参加したかった学生がいたかもしれません。私も先生からお声掛け頂かなければ、こんな体験ができることを知りませんでした。なので近大のTwitterアカウントなどSNS等を利用して情報を拡散すれば、参加しやすくなったのではないかと思います。
- もう少し身近な素材を取り扱っている会社があればなあと思いました。
- 企業の方と話をする機会は中々ないので、このような機会を増やして欲しいです。
- どうやって興味を引き出すかがポイントだと思いました。体験受入企業の紹介欄で具体的にどんなことができるのかが明確になっていればいいと思いました。また、

- 多種多様なジャンルの会社があればいいかと思いました。
- 会社訪問時、絶対に遅刻しないよう厳しく呼びかける。
 - 体験企業先について書かれたパンフレットが読みにくく分かりにくかったので写真などを入れ、より分かりやすくしたら良いと思います。
 - 参加企業の一覧に具体的な業務内容、製品、各企業様の強みとなる技術などを写真付きで載せる。これによって、事前に自分が体験を通してやりたいことを考えやすくなると思います。
 - 作ったものを展示することが全体でできれば、広報に使えるのではないかと思いました。
 - 大学3年生の3月は企業説明会が多くあるが、発表会があると行けないので、3月以前にすると参加しやすいと思います。大学1、2年生は企業とのやりとりの経験が無くハードルが高いため、手厚いサポートがあると良いと思う。
 - もう少し高校生の参加人数を増やすこと。
 - もっとアピールするべきだと思いました。
 - 高校などで積極的に学生に勧める。ポスターなど利用すれば良いかと思いました。
 - 近年若い人の興味がアニメやゲーム、PCが多いと感じます。その為、そういったものに関連付けたモノづくりが良いと思う。他の受入企業様のようにキャラクターを作ることは受けが良いのではと思う。また、どの企業も同じテーマをもってモノづくりを行い競い合わせることも良いと思う。
 - アンケートで書いた問題点を改善し、良い評価を参加者から得ること。そして、その評価をネットにのせる。

4. 今回の体験を、今後の実社会で生かせることはあるでしょうか。

- 学んだことは社会に出ても必ず生かせると思います。早く身に付けたいです。
- 今回、私は石材で紙コップと紙皿を作りたいと提案しました。結果、紙コップの方が形状的に石材で作るのが難しく割れてしまいました。今回の体験を経て、何もかも上手くいく訳ではなく、何が可能で何が不可能かを知ることが大切であるということ学びました。
- どこの会社でもそうですが、メールのマナーや「自分のやりたいことや願望を上手に相手に伝える」ということが生かせるかと思いました。実際の社会人の人達と関わることは、就職活動に少しでも役に立つのではないのでしょうか。
- 受け身の姿勢ではなく積極的に自分から質問などをしないといけないことが分かりました。今後生かせることができると思います。
- 実際にモノづくりの現場に入ることではか感じられない作業者の気持ちや安全面での配慮が生かせるのではないかと感じました。
- 実際の現場を体験したことで、就職前に企業について知ることができた。全くの無知であった鍛造について学んだことで、将来の進路を広げることができた。
- 実際に現場に入った時、どのようにすべきか、間近で見れたことで大きな経験となったこと。仕事、社会人の先輩として、社会人としての在り方や必要な技術などアドバイスを頂いたこと。
- 就職活動でインターンシップを行っても1日、2日が普通ですが、「東大阪モノづくり体験塾」では、自ら会社に行き企業の方と打ち合わせをし、約5日間一緒に過ごせたので、会社がどのようなものであるかを知る良い経験だったと思います。
- CADの使い方、モックの制作、プレゼンテーション等、社会で使える、また使っ

- ていきたいことが多く学べたので、是非生かしていきたいと思っています。
- 学校で学んだことだけでは、まだまだ知らないことが沢山あり、もっと知識を深めないと企業では通用しないことを痛感した。
 - “他の人に伝える”という力をつけることができた。
 - 人前で発表するという、自分から積極的に行動すること。
 - ものづくりにおいて、主体性を持ち熱心に取り組むということです。社長より「何事も自分自身、本人次第」というお言葉を頂き、発表会では出来るだけ取組みを伝える様にプレゼンしたと思います。
 - コミュニケーションを大切にしていきたいです。
 - 体験内容を企業と自分一人とが話し合い、メールなどの連絡も自分で行うので、社会に出る際に必要な自発性を持つことに繋がりました。
 - 業界研究になった。設計の仕事はあまり向いてないのかなと、体験を通じて学べたのは良かったと思う。部長さんと話をさせていただいて、考え方や生き様を聞くことができ、自分の将来について考えられ易くなったのは良かった。多くの人前で発表することはあまりないので良かった。
 - 会社の雰囲気等を学べて、今後どういう会社に入りたいかを知ることができた。
 - 人間関係や実際に現場で行った体験、その他の普段体験できないようなことを経験でき、就職後に生かしていきたい。
 - 人前に立つ度胸がついた。準備することの大切さ、コミュニケーションの大切さがわかりました。
 - 今回初めてこういった経験ができた。社会でもパワーポイントを使って発表することがあると思うので、すごく貴重な体験をさせていただきました。
 - 社会人になってもプレゼンテーションをする機会があると思うので、今のうちのこういった体験は、今後の実社会で生かせると思います。
 - これから必要になる発表力をこういった所で実践できました。自分に必要だと思うので良かったです。
 - こういうパワーポイントを用いて、自らの意見を発表する行為は会社に入った時には非常に重要なので良いと思いました。
 - 作るだけでなく、設計するだけでなく、さらに製品でもなく、今後製品として作られるかも知れない“試作品”を設計から作成まで体験させていただいたことは、今後の考え方や手順、やり方を含め、様々な所で役に立つと思う。
 - 仕事を行い、信頼を得るということを実際に見せていただいたので、自分が働く時には、追いつくことを考えるだけで社会人に入っていくことができると思う。
 - 様々な企業の様々な指針や製造方法を学べたので、自分の中に広がりや深みがあったと思います。この経験は将来の糧になると感じました。

ロ. 協力企業

1. 今回、体験塾にご協力いただいた！正直な感想をお聞かせください。

①大変よかった(13名/21名中 61.9%)

- ・学生さんが体験を通じて変化してゆく様子が感じられて嬉しかったです。受け入れ側もモノづくりの感動を一緒に味わうことができました。
- ・学生さんにとっては貴重な体験になったと感じるフォーラムでした。
- ・学部や学科が多岐にわたり新鮮な発表が目立った。高校生のプレゼンテーション

が、インターンシップの意義をよく伝えられていて良かった。

- ・これまで技術系が多かったが、デザイン系が加わったことで幅が広がり一歩前進だと思う。
- ・今までインターンシップという形で高校生の受入れは行ってきたが、大学生の受入れは無かった為、どの様な対応を取れば良いか大変戸惑った。今後の体験塾にどの様に対応すべきか、少し前向きに考えられるようになった。
- ・とてもわかりやすいハキハキした言葉、スピードで聞きやすかった。
- ・当社としても学生を受け入れるのは初めての経験でした。私達のアイデアでは浮かばないデザイン、考え方を学びました。この経験を当社も学生も今後活かしていきたいです。
- ・私達が協力したというよりも私達の固定観念を壊すきっかけ作りに協力して頂いた、というのが正直な感想です。
- ・彼ら、彼女たちがこの先社会に出る時、どんな企業で自分が何をしたいのかを考える上でお役に立てるなと思っています。今回の二人に感じて貰え、本当に喜んでくれたので嬉しかったです。
- ・参加された学生さん達は、意識がとても高く、非常に大きな可能性を秘めておられると強く感じました。
- ・よく考察されレポートされている。
- ・学生が企業や働き方についてどのように考えているのかを知ることができた。
- ・社員が仕事内容を見直すことができた。新しい課題を見つけることができた。

②よかった(7名/21名中 33.3%)

- ・モノづくりに興味を持つ若者が減っているなかで、このような取組みは素晴らしいと思った。
- ・人に伝える難しさや大勢の人前で発表する緊張感を味わえてよかったです。
- ・学生との話の中で大学や研究テーマなどの情報交換ができた。先端技術開発を進める為の研究室のテーマや機械のことを教えて貰い参考になりました。
- ・学生の素直な意見を聞くことができた。
- ・当社がどのような製品を作っているか? どのような作り方をしているか?を知って貰い体験して貰えた点、また、逆に既存の考え方にとらわれない新しい発想など、学生から刺激を受けることがあった点。
- ・学生の持つモノづくりに対するイメージに直に触れることができたこと。企業側の持つイメージとのギャップを知ることができた。

③どちらでもない(0名/21名中 0.0%)

④よくなかった(0名/21名中 0.0%)

⑤未回答(1名/21名中 4.8%)

- ・大変真面目に取り組む姿勢が良かったです。

2. 学生の行動で、困ったことや気になったことはありましたか。

- 体験した日から発表まで時間が空きすぎてしまうと内容を忘れてしまっているのでは。
- インターンシップスタートの連絡、最初のところをもっとうまくできるようにしたいと思いました。(お互いの希望を調整: 6H×2日を3H×4日に変更しました。)
- 発表の前半、マイクをうまく使えていなかったのが残念です。

- 特に無く、鑄造の知識についてもある程度備わっているのので、話が前進し易かった。
- 特にありません。学生がよく話をしてくれました。
- 色々考えながらやったのですが、それぞれの人に合わせてあげればよいと思います。
- 特にありませんが、もっと話し合える機会・時間が無かった事を後悔しています。
(テーマが無かった)
- 安全教育をする時間を考えておらず、機械操作は技能作業者と行う必要が発生した。
- テスト期間や年末年始の休み等で学内で作業が出来ないとなかなか進まない時があり、本人も少し困っていた。
- やる気があまり感じられなかった。我々も貴重な時間を割いていることを忘れないで欲しい。

3. 次回、企業が学生を受け入れやすくするための工夫、アイデアがあればお書きください。

- 企業見学ツアーなどして興味をもった企業を体験すると、学生さんの中で体験ギャップが無くなるのでは。
- 1日のインターンシップが難しい場合、半日単位で考えることで問題を解消しました。
- 他県（福島など）他教育機関への拡大（ゲスト参加）
- このフォーラムの活性化はまず大事。参加企業がどんどん周りに声を掛け、拡げていくしかないと思います。
- 鑄造はモデル（木型や金型）とも深く結びついており、モデルの作り方も含め話ができる、鑄造の面白さ、苦勞がわかって貰えると思う。
- 高校生を増やして欲しい。
- 事前に学生のアイデアなり想いを確認できれば、会社とのマッチングがより良くなり、受入企業も増えるのではないかと思います。
- 第一回、第二回の受入企業が学生を受け入れたことによって得た成果を発表する機会をつくる。その場に新規受入企業を案内する。
- 当社としてはそんなに問題は無かったが、できれば12月までに終わらせれたら良いと思います。
- 期間を長く取り、複数の方々とのやり取りを行いたい。
- 基本的な製品情報や勉強会は大学で行っても良いかも知れません。企業に行く前までに、現場で確認したい事を考える時間が必要かも知れません。
- 事前に会社見学をしてもらい、どのような事をしたいかを伝えてもらえると、こちら準備をしやすいので、学生・企業共によいと思います。
- 企業側の会社概要を事前にPR出来る様な資料を提示する場を持ってはどうか。
- まず、学生が何を学びたいのかを知ること。それにより、企業が教える幅も広がると思います。学生が学びたいことをやらせてあげたいです。

4. 今回の学生受入を、こういった形で活用される予定ですか。

- 良い人材に入社して貰えるきっかけになると良いのですが、今の若い人に製造業に興味をもって貰えるだけでも良かったと思います。
- 正直ってよくわからない。受入れ担当者は準備や説明することで、教えることについて学んだと思います。
- インターン受入部署やテーマの拡大。
- 自社の強み・弱みの把握。人材の活性化（社員）。

- 今のところ、活用する方法を考えているところです。
- 就職活動、社内のコミュニケーション、指導育成。
- 新しいアイデアの発想に活用したいです（展示会に向けて）。求人にもできれば活かしたいです。
- 当社は活用するという事は考えていないのですが、学生達のお役に立てれば良いと思っています。
- 社員教育、当社への就職のご希望、共同研究の拡大。
- 採用活動及び新人社員教育
- 大学との連携でモノづくりを盛り上げたい。
- ホームページで紹介
- インターンシップを通じて、学生と社員とのコミュニケーション力は向上すると考えています。
- 将来的に産学共同プロジェクト等ができればと思います。
- 非破壊検査というものを少しでもPR出来れば良いと考えます。

5. 来年度も開催するとしたらご協力いただけますでしょうか。

- ①協力する(15名/21名中 71.4%)
- ②検討はする(4名/21名中 19.0%)
- ③難しい(0名/21名中 0.0%)
- ④無回答(2名/21名中 9.5%)

(受入課題)

- ・3D-CADを使って板金加工について説明（構想中）
- ・担当できる人材がない
- ・当社の準備強化（もっと知って貰う為、充実させる為に）
- ・体験塾に対する時間を取ることがムズカシイ。
- ・安全教育
- ・期間・時期
- ・受入れの体制をしっかりと整えないと

ハ. 参加者

1. フォーラムに参加された正直な！感想をお聞かせください。

①大変よかった(18名/24名中 75.0%)

- ・地元中学の就業体験、布施北高校のデュアル実習など、中・高校生のキャリア教育を見てきましたが、大学生の体験塾はレベルの高さと同時に実用性があると感じました。
- ・企業訪問相談員として、エリア外企業、担当エリアで未訪問企業の内容が分かり大変勉強になりました。また、モノづくりに関心をもっている学生が多い事に安心しました。
- ・発表者の時間管理（相当発表練習を行ったと思いますが）が良く、プログラムの運営がスムーズに進められたこと。
- ・昔と違ってナイフ等のあぶない道具を持たせて貰えない。その為、作るという経験が出来ないまま大人になる。出来るだけ小さい時から（中学生）こういう経験

をさせてあげたい。

- ・本学科（近大文デザイン）学生の成長を知った／他学部・高校の様子を知ることができた／モノづくりのプロセスを考えることができた
- ・企業にとって学生さんの発想が今後の商品開発等に役立つと思います。また、製造業の詳細、内容を知ることが出来た。今後も継続して拡大できれば良いと感じます。
- ・各々生徒さん達が目的をもって各企業に行き、自分のコンセプトを伝えようとする熱心さが伝わりました。
- ・学生と企業が仕事を通じた接点を持つ、非常に貴重な体験を提供する、とても意義のあるイベントであると思います。
- ・学生さんが企業の中でかわいがってもらいながらも、色々感じ取っている事が微笑ましく、モノづくりに興味を持ってくれている事を実感した。
- ・学生さんの声、考え、感じた事を聞く事ができ、とても良かった。我々にはない視点もあり、本当に勉強になりました。
- ・インターンシップにより、学生の方々が社会、ものづくりを体験し大人になるためには、大変大きな収穫となり人生で忘れられない一歩となるでしょう。
- ・地元企業さんの協力のもと、学生さんを迎え、各々貴重な体験談を聞かせてもらい有難く思った。活動の歴史を感じた。
- ・2回目とは思えない濃い内容でした。
- ・学生達でぎこちない方もあったが、皆さんいきいきと発表していた。
- ・皆さんの発表は素晴らしく、いい体験をされてうれしく思います。上位3者（チーム）を決めるのは難しい。悩みます。
- ・一人ひとりの学生が新鮮な眼で観て、感想だけでなく提案をしており、素晴らしいことだと思った。近大にとっても大変良い機会になったと思う。（地域連携の一つの形）
- ・様々なプレゼンテーションがあつて良かったです。

②よかった(5名中／24名中 20.8%)

- ・高校生、大学生にとって貴重な経験を積むきっかけとなり、準備・提供いただいた事に感謝します
- ・大学生や高校生が、東大阪のモノづくり体験を最初は先生に言われていやいやだったかも知れないが、インターンシップ（企業）に行くことを通じて、モノづくりの大切さや、自分自身の将来を考えられることが良かったと思う。
- ・東大阪ならではの取り組みが聞けてよかった。

③無回答(1名／24名中 4.1%)

2. 発表の中で良かった学生は誰でしょうか。上位3者（チーム）を発表番号で記載し、理由もお願いします。

※3票以上

⑩番（野田金属工業株式会社：近畿大学文芸学部） 16票

- ・発想のコンセプトが明確でわかりやすい。
- ・何をしたいのかの着眼点、テーマ選定の悩みなども伝わり、まさしくモノづくりを感じられた。

- ・計画プロセスや課題点が大変明確だった。
- ・創造力の豊かさ。
- ・こだわりの会社側とのやりとりと本人のこだわりが良かった。
- ・学生と企業とのコミュニケーションが形になった経緯をととても上手に発表されていた。
- ・試作品まで作って頂いて、アイデアの宝庫になりうる人になれそう。ハッキリした体験談。
- ・自分自身の意思を貫いた活動と明快なプレゼンテーション。
- ・ストーリーをしっかりと語っておられ、かつまとまっていた。
- ・わかりやすい説明。
- ・具体的に使えるところまで造り上げたこと（製品化の完成）。
- ・女性らしいプロダクトの発想で、発表にも訴求力があつた。
- ・自分の言葉できちんと発表していたと思う。
- ・廃材で新製品が生まれたら素晴らしいと感じたこと。
- ・アイデア、企画、コンセプト等、学生と企業がよくコミュニケーションを取ってモノづくりをした様子が伝わってきました。

⑧番（株式会社イマイ・大阪石材工業株式会社・株式会社木内組：城東工科高校） 10票

- ・初心に返らされる思いになりました。
- ・色々感じた事が新鮮で、聞いていて気持ちが良かった。
- ・高校生でありながら率直に感じた事を話せた。これからの成長が楽しみです。
- ・先生の声掛けによって良い経験をし、卒業までに足りないところを身につけることを学んだこと。
- ・石と革と木という素材の特徴をしっかりとつかんでいること。
- ・元気があって良かったです。
- ・高校生の素直なプレゼンでポジティブな印象に好感を持った。
- ・体験した事をしっかりと発表できた事。
- ・目的がはっきりとしていた。面白い発表。
- ・学生らしく元気の良い発表でした。カンペもなく頑張って発表していました。

⑨番（株式会社イマイ：近畿大学文芸学部） 10票

- ・何故企業を選んだのか、何をしたいのか分かり易い事が良かった。
- ・テーマの選定理由が明確であり、独創性のあるアプローチが良かった。
- ・真逆の発想が良かった。もう少しゆっくり話せば文句なし。
- ・想像力の豊かさ。
- ・コンセプトの大切さ、話し合いの大切さを実感しました。
- ・デザインという目線からの話が面白く、革への着眼点が良かった。
- ・面白い発想でした。
- ・発想の転換で、ありえないものを作ることが素晴らしいと思う。
- ・目的、内容、説明が分かりやすく、非常に良い発表でした。

⑩番（大阪石材工業株式会社：近畿大学文芸学部） 6票

- ・真逆の発想というのが良かった。
- ・資料中に必要以上の説明がなく、見易く分かり易い事が良かった。

- ・石と紙の一見相反する素材の利点を活かしたモノづくりの工夫が良かった。
- ・真逆の発想、構造の説明などが明確だった。
- ・デザイナーの思いと技術・現場の壁を感じる良い例。
- ・ていねいな説明。

⑫番（大阪バネ工業株式会社：近畿大学理工学部） 6 票

- ・現場が初めてという視点からの提案（チャックの方が良い等）がとても良かった。
- ・働いているパートさんや工場で働いている人の安全への提案という人への視点。
- ・企業にとっての安全、やる気のアップということに気付いたこと。
- ・素直に改善すべき事を発表した事。
- ・現場への問題提起、改善案があった。

⑪番（株式会社木内組：近畿大学文芸学部） 4 票

- ・伝統技術に着目したところ。
- ・うまくまとまっていた。
- ・掛ける用のフックが流行るんじゃないかと思います。

⑬番（日新技研株式会社：近畿大学理工学部） 4 票

- ・熱意ある発表。
- ・あたり前の中にあるモノづくり現場の思いやプライド、工夫に気付いてくれた。
- ・よく内容を知って細かなところを修得していた。また指摘もあり好感が持てた。
- ・企業のインターンシップに真摯に取り組んでおり、パワポ資料のまとめ方も良い。

①番（株式会社繁原製作所：近畿大学理工学部） 3 票

- ・東大阪のモノづくりの魂を感じてくれていた。
- ・他が出来ないことが出来ることが需要であると学んだこと。

3. フォーラムに参加され、何か発見はありましたか。

- モノづくりのまち東大阪として、このキャリア教育はとても貴重なものだと感じました。学生の将来の進路選択に役立つだけでなく、実習先の企業も若い発想に触れることができます。ただ、企業様の負担も大きいでしょうから、企業様のご配慮に感謝したいと思います。
- 今回、採点をつけ上位3者を選んだ結果、女性の発表者が占めたことに気付きました。積極的な姿勢、テーマ選定とストーリー作りなどの上手さ、発表の聞き取り易さで⑨⑩⑬は大変良かった。
- 若い時に作ることの面白さ、楽しさを経験することが大切なことと思いました。チームワークとか色々なことが学べ、モノづくりに携わる人が多くなる。
- 「模型」の重要さを認識しました。
- 受入企業の協力体制に感心。逆に受入企業数が東大阪市として少なく感じた。学生さんの熱心な研究が企業の新たな商品開発に役立つと感じた。
- 学生の熱い思いや受入企業の使命感を感じました。
- 内容は期待通りで大成功だったと思います。近大生に偏っていることが気になりました。

- これまで大学での「ものづくり」に関する体験となると理系学生と思いがちだったが、文系の学生との協業もできること。この視点が面白かった。
- 回数を増やして、日本全国にもものづくりを今以上に東大阪をアピールして欲しい。
- 官学の連携を強く感じました。
- 素晴らしい発表会だった。産・学・官・金の連携がうまく出来ていたと思う。
- ①motoGP等のレース車両部品が東大阪で作られていることに感動。⑨牛乳×牛革のアイデアが面白い。
- 働いているパートさんのモチベーションを上げる提案や、工場内の危険を減らすための提案など、人に焦点をあてた視点が素晴らしかった。現場感覚の磨き上げのまたとないチャンスだったと思います。
- 色々な企業、事業、発想があり勉強となりました。
- 近年、若い人達のプレゼンテーションが自然体で、しっかり発表することに驚かされる。
- 昨年より多くの企業が参加しているなどと思った。今年は革の企業が参加されていたなど思ったが、東大阪の紙とか繊維とか鍍金の企業も参加して欲しいなどと思った。
- 学生の体験塾の機会を数多くやって欲しい。興味を持ってもらえたら人材確保に繋がると思う。

4. 本日のフォーラムを何でお知りになりましたか。

- ①メールマガジン (2名/23名中 8.7%)
- ②事務局からのファックス (2名/23名中 8.7%)
- ③知人からの紹介 (10名/23名中 43.5%)
- ④ホームページ (Face book) (1名/23名中 4.3%)
- ⑤その他 (8名/23名中 34.8%)
 - ・チラシ、近大校友会、関係者からの紹介、事務局からの個別案内(メール)

5. モノづくり体験塾で、今後期待することがあればお書きください。

- 理工系の学生と文系の学生の発想が違って面白く感じました。今後、文系の人の発表が増えるとデザイン面からの発表が多くなるだろうと感じました。
- 今後も継続して欲しいことと、私達も参画し協力出来ること事がないのか等を含め、益々の発展を期待します。
- 運営の時間的な問題もあると思いますが、前年度の上位発表者(1位等)の再発表が1社でもあれば良いと思います。
- 出来るだけ多くの若者が体験出来る機会を作りたい。
- 今後もさらなる発展を期待します。出来ることあれば貢献したいです。また、参加者のその後の活躍も知ることが出来ればうれしいです(差し支えない範囲で)。
- 様々な業種、参加企業数の増加により一層盛り上げていけば、更に東大阪市の活性化に繋がるものと思います。
- 今後も継続して実施していただきたい。
- 持続可能な運営。
- デザインだけでなく、経営等を学んでいる学生も面白いかも知れない。また、派遣先企業を中間部材と消費材を作る企業とに分けることで、また学生の見える視点が

変わるのではと思いました。

- 体験した報告会は大変素晴らしい。これからもどしどし進めて頂いて、ものづくりの楽しさを理解して頂くチャンスの場になって頂きたい。
- 「企業が欲する人財は何か」を反映した活動になればベター。モノづくり企業は生産効率を更に上げていくのが共通課題と思う。この視点で内容に組み込めないだろうか。
- 続けていくと、今日発表した学生が近い将来、受入側の企業の社長になっているのが楽しみです。
- これからも頑張ってください。
- 少しでも多くの学生がモノづくりの楽しさを体験して、将来のために役立てて欲しい。
- 文科系の学生にもモノづくり企業をみて貰いたいと思います。特に経済や経営などの学生にとっては体験が貴重なものになると思うからです。文化の面でも大きなキッカケとなる。
- 加工のノウハウ等、ものづくりに関する勉強会。
- 商品化が可能であれば楽しみです。
- 難しいかも知れないが、プレゼンをもっと自分の言葉でしゃべれるようになったら良いと考えます。
- 学生の教育の場として考えた場合、プレゼン向上が図られれば良いのではないでしようか。（目的・モチベーションの明確化、原稿を読まない発表）

以上